

四国森林管理局入札監視委員会 審議概要

(ホームページ掲載日：平成24年10月29日)

開催日及び場所		平成24年9月19日（水曜日）四国森林管理局会議室		
委員		坂本 伸廣（税 理 士） 田中 章夫（公認会計士） 西森やよい（弁 護 士）		
審議対象期間		平成24年 4月 1日～平成24年 6月30日		
審議対象案件		202件 うち、1者応札案件 68件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 4件		
抽出案件		27件 うち、1者応札案件 10件 （抽出率 13％） （抽出率 15％） 契約の相手方が公益社団法人等の案件 3件 （抽出率 75％）		
抽出案件内訳	工事	一般競争 5件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件		
		指名競争	指 公募型指名競争	該当なし
			工 工事希望型競争	該当なし
			争 その他の指名競争	該当なし
		随意契約	該当なし	
	業務	一般競争 5件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件		
		指名競争	指 公募型競争	該当なし
			簡 簡易公募型競争	該当なし
			争 その他の指名競争	該当なし
		随意契約	随 公募型プロポーザル	該当なし
			簡 簡易公募型プロポーザル	該当なし
			約 ル	
			標準型プロポーザル	該当なし
	その他の随意契約	該当なし		
	役務等	物品・	一般競争	14件 うち、1者応札案件 8件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 2件
			指名競争	該当なし
		役務等	随意契約（企画競争・公募）	該当なし
随意契約（その他）			3件 うち、1者応札案件 2件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
（特記事項）なし				

	意見・質問	回答等
委員から の意見・質問 それに対する回答等	○「アダムス入力・出力業務」の参加資格要件のところに、「本入札公告の委託業務と同種の業務実績が1年以上」とあるが、入札参加資格のある業者が他にいるのか。 ○生産・造林事業の中で、新規参入業者があり、この入札参加資格のところを見てみると、「平成9年度以降、同種業務の実績を有すること」となっているが、実績等はあったのか。 ○「国有林林道等交通安全指導業務」について、社団法人の1者応札である。入札参加資格の中に、「交通指導に精通している人員として要件を満たしている者を有している者」とあるが、具体的にどういう人か。また他に競争相手はいるのか。 ○生産事業について、落札率が極めて高いものがあるが、なぜと考えるか。	○他の官庁でも、このアダムスにより業務を行っているので、そこでの同種業務の実績があれば参加できる。 ○平成9年度以降の実績とは、国有林の実績だけではなく、市町村や都道府県など民有林の実績も認めている。なお、この業者は平成23年度後半から応札してきた新しい事業体で、昨年度末には落札し契約している。 ○この業務内容は、国有林の林道を利用している方々に対する安全の指導や、四国局の林道で起きた交通事故の調査などであり、専門的な業務を含むため、林道安全協会などのみの応札になったと思われる。平成21年の事業仕分けにより、競争性を高めるため、橋や道路の構造物の点検と一緒にしていた業務を分けるとともに、市町村の交通指導等の経験者や道路交通法の安全管理者又は安全管理補助者の経験がある者を有すれば参加できることとするなど、入札に参加しやすい条件としている。 ○生産事業の落札率について、平均落札率が94%である。四国局の生産事業に携わっている事業体は、従来から長年にわたり生産請負事業の実績があり、その経験から入札価格を算出し、結果として高い落札率となるものが出てくると思われる。
委員会による意見の具申又は勧告の内容 [これらに対し部局長が講じた措置]	特になし	